

リジュセア®ミニ点眼液 0.025%による近視進行抑制治療について

リジュセア®ミニ点眼液 0.025%による近視進行抑制治療については、発売前の臨床試験において、点眼を行わない場合に比べて、小児の屈折値の進行や、眼軸長の伸びを抑制することが確認されました。主な副作用として羞明（まぶしさ）があります。

本治療は、近視の進行を抑えることを目的としています。ただし、完全に近視の進行を止めることはできません。また、この治療は視力を回復させるものではありませんので、その点をご理解ください。
近視の程度に応じて眼鏡等での視力矯正が別途必要となります。

【治療に用いる薬剤】

・ 名称 ： リジュセア®ミニ点眼液 0.025%

【治療スケジュール・費用】

検査後、適応と判断されれば治療開始となります。副作用等がなく、治療継続に問題なければ、定期的に効果をモニタリングします。

治療スケジュール	費用（税込）
初回	診察・検査費用（1,500 円）＋点眼薬費用（4,380 円/1 本）
2 回目 （初回から 1 ヶ月後）	診察・検査費用（1,500 円）＋点眼薬費用（13,140 円/3 本）
3 回目 （初回から 4 ヶ月後）	診察・検査費用（1,500 円）＋点眼薬費用（13,140 円/3 本）

※ 3 回目の治療以降は 3～6 ヶ月毎の定期的な通院が必要です。診察・検査費用（税込 1,500 円）及び点眼薬費用（3 か月通院の場合 90 日分 税込 13,140 円）が必要となります。

【治療費に関する注意点】

リジュセアミニ点眼液が原因と考えられる副作用について診療が必要になった場合や、治療開始後に学校検診やメガネ・コンタクトレンズ処方等の近視に関わる診療を受ける場合にはすべて自由診療になります。近視に関わる診療は他院であっても保険診療で受けることはできません。

近視以外の病気（結膜炎、麦粒腫など）については保険診療になり、同日の受診が可能です。

【主な副作用・危険性】

主な副作用として、羞明（まぶしく感じる）、霧視（かすんで見える）があります。

まれに視力障害、頭痛、眼瞼湿疹が起こることが報告されています。

また、治療を中止すると、近視が急激に進行する可能性があります。

これらの症状や何か気になる症状が現れた場合は、早めに医師にご相談ください。

作成：やおえだ眼科